

令和5年度事業計画書

特定非営利活動法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

I 事業期間

(自) 令和5年(2023年)4月1日～(至) 令和6年(2024年)3月31日迄

II 事業の実施方針

2023年3月末現在、正会員が5名増の44名、準会員が学生1名増の6名、賛助会員は個人が3名増の6名、団体が1社で、会員総数は56名となった。

令和4年度に会員数増を計画したが、積極的かつ効果的な勧誘活動ができず、結果会員数は9名増のみと微増の結果に終わっている。新年度から当法人が京都大学から阿武山観測所のサイエンスミュージアムとしての運営を委託されることになり、円滑な運営を行うためにも、当法人のホームページをはじめ、見学会や講演会等での入会案内を積極的に行い会員確保に努めていく。

また当法人の下支えする阿武山サポーター会のボランティア活動参加者の高齢化等が進み減少傾向にあり、さらに今年度新規参加者が2名あったが受け入れ体制が不十分で活動継続に至らず、この現状が続くと見学会等の運営にも支障をきたす恐れがある。

そのためサポーターを積極的に受け入れ、適切な教育を施すための体制を作った上で、市の広報誌などを通じてサポーターの募集をかけ増員を図る施策を実施する。

一般見学会や団体見学会、また、出前講座等の運営は10年に渡るサポーターの経験と努力によって安定し、成熟の域に達している。しかし、セミナー内容は当初から変わっておらず、今後は新規コンテンツ等を広げ、また、プログラム内容も固定化せず、幅広い人々がより楽しみ学び合う機会を設け、リピーター客の増加にもつなげたい。

出前講座などの活動も増やすために、ホームページの活用や広報・チラシ配布などでPRも行い、様々な場所へ出向いて講演を行っていききたい。

また、今年度よりはじまった阿武山小学校との交流を皮切りに、今後は防災講演会などを通じて、地元とのかかわりをより強くしてゆく活動も進めて行きたい。

令和4年度は有料講演会「新まんてんてらこや」を講演形式とオンライン形式のハイブリッドで実施して好評だった。令和5年度も公開講座として年数回実施を企画し、地震学や防災・減災に限定することなく多様な分野で活躍の講師を招いて講演してもらい、会員のみならず一般市民にも様々なノウハウを提供していききたい。

冊子「阿武山観測所ガイドブック」は第1刷500部をほぼ完売し、第2刷500部を追加で印刷した。引き続き見学会や講演会などで販売を行っていく。

さらに令和5年度は新たに当NP0理事の梅田康弘先生に執筆いただいた書籍「地震情報を読み解く」を出版し、学生のみならず広く一般の読者への販売を行っていく。

阿武山観測所の約10万㎡に及ぶ広大な敷地内の樹木の伐採、草刈りや植栽など、訪問者の安全かつ快適な環境作りに努める「阿武山グリーンクラブ」も重要な活動を担っている。今後も阿武山観測所構内の安全な環境づくりに努めていく。

Ⅲ 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事項

(1) (事業名) 一般見学会

(内 容) 地震学の歴史講座と歴代地震計などの各種展示ツアーガイド及び、屋上展望案内を行う。また、大阪平野の地下活断層をCG映像化したビデオを放映する。ミニプログラムでは希望者に阿武山古墳、観測所の建物解説や敷地内の自然観察ツアー、防災対策クイズを日替わりで開催する。

(実施場所) 阿武山観測所

(実施日時) 毎月第2土曜日/第3日曜日

①10:00~12:00 ②13:30~15:30

(事業の対象者) 一般市民

(収 益) なし (参加費無料)

(費 用) なし

(2) (事業名) 団体般見学会

(内 容) 10名以上の団体を対象とする見学会。一般見学会の内容をベースに団体の希望に応じて内容や所要時間等をカスタマイズできる見学会を開催する。

(実施場所) 阿武山観測所

(実施日時) 随時受付。 10:00~16:00

(事業の対象者) 10名以上の一般市民(団体)

(収 益) 参加費が必要な催しで当観測所を利用する場合は、有料化での開催を主催者に交渉する。

(費 用) なし

(3) (事業名) ペットボトル地震計講座

(内 容) 小学生を対象にした地震学と工作の講座で、地震計の仕組みを勉強し、ペットボトルを使って簡易な地震計を作成する。学校では体験できないような学習の場を提供し、子どもの学習意欲の向上を図る。令和5年度は下記①から④の講座以外に、新たな講座が開催できるよう、見学会参加者や広報誌、ホームページやメルマガなどで積極的にペットボトル地震計講座を宣伝する。

(実施場所) ①阿武山観測所

(実施日時) 7月22日(土)/23日(日) 各日とも午前午後の2回

(事業の対象者) 小学4年~6年生(保護者同伴)

(収 益) 10,000円(参加代1人500円の徴収を目指す ×10人×2日)

(費 用) 6,000円(材料費)

(実施場所) ②高槻市立自然博物館(あくあぴあ芥川)

(実施日時) 7月29日(土) 午前午後の2回

(事業の対象者) 小学4年~6年生(保護者同伴)

(収 益) 8,000円(講師謝礼)

(費 用) 2,000円(講師交通費)

(実施場所) ③高槻市立総合市民交流センター(クロスパル高槻)

(実施日時) 7月30日(日) 午前午後の2回

(事業の対象者) 小学4年～6年生(保護者同伴)
(収 益) 42,000 円(講師謝礼2人・補助従事者謝礼6人)
(費 用) 2,000 円(講師交通費)

(実施場所) ④人と防災未来センター(神戸市)
(実施日時) 8月5日(土)/6日(日)2日間予定/各日とも午前午後の2回
(事業の対象者) 小学4年～6年生(保護者同伴)
(収 益) 見込 80,000 円(講師謝礼/1日30,000 円×2日+
参加費/資料代:1名500 円×20 人/日×2日)
(費 用) 見込 40,000 円(講師交通費30,000 円、工具等配送料10,000 円)

- (4)(事業名) 阿武山観測所の管理受託業務(請負業務)
(内 容) 京都大学防災研究所附属地震災害研究センターから、同センター所属
の阿武山観測所の管理業務について、同観測所屋上排水溝清掃並びに観
測所一般見学会の管理運営業務を受託して実施する。
(場 所) 阿武山観測所
(実施日時) 排水溝清掃は年2回、見学会は月2回、年24回開催
(収 益) 499,000 円(年度一括)
(費 用) 年度見込 416,000 円 ※費用科目は要検討中
・事務局作業費(月・木):288,000 円
(1日3時間×週2日×月4週×12か月 時間@1,000 円)
・一般見学会送迎交通費(JR摂津富田⇄阿武山観測所):10,000 円
(1往復1台200 円=往復距離10kmの平均燃費 送迎2台×25回)
・議事録作成費、集計作業費:118,000 円
(議事録作成5時間×時間@1,000×14回=70,000+
一般見学会アンケート集計2時間×時間@1,000×24回=48,000)
- (5)(事業名) 出前講座(防災講演会)
(内 容) 地震や防災に関する一般向けの講演会を要請された場所へ出向いて行
う。またオンライン会議機能を使ったネット講座も可能とする。
令和5年度は見学会参加者や広報誌、ホームページやメルマガなどで
積極的に出前講座を宣伝する。
(場 所) 地域自治体の公民館やコミュニティーセンターまたはオンライン開催
(実施日時) 随時
(事業の対象者) 一般市民及び自治会や団体等
(収 益) 見込 30,000 円(講師代1回10,000 円×3回)
(費 用) 見込 3,000 円(交通費1,000 円×3回)
- (6)(事業名) 公開講座(新まんてんてらこや)
(内 容) 一般市民向けの公開講座。各回さまざまな分野から講師を招き、最
新の地震学や防災・減災に関する話題を提供して学びを共有する。
(実施場所) 阿武山観測所またはオンライン開催
(実施日時) 年間2～3回予定
(事業の対象者) 一般市民及び当NPO会員
(収 益) 参加費 一般ひとり500 円、当NPO会員は無料
(費 用) Peatix(イベント会社)手数料(収益の4.9%+利用者数×99 円)

- (7) (事業名) 阿武山観測所の環境整備活動
(内 容) 阿武山グリーンクラブが中心となり、約 10 万平方メートルに及ぶ
広大な観測所敷地内の樹木の伐採や草刈り、落ち葉処理や植栽な
ど訪問者や周辺住民の安全かつ快適な環境作りに努める。また、樹
木の名前プレート設置など、自然観察ツアーの補助も行う。
(実施場所) 阿武山観測所構内
(実施日時) 毎月金曜日
(事業の対象者) 見学者及び地域住民
(収 益) なし
(費 用) なし
- (8) (事業名) 地震防災講演会セミナー開催支援活動
(内 容) 阿武山観測所の 2 つの会議室を活用したセミナーや各種研修会
など各種イベント開催を支援する。
また令和 4 年度に引き続き、京都大学桜島火山観測所における見学
会開催を実現するための支援活動を継続して行う。
(実施場所) 阿武山観測所、桜島火山観測所のハルタ山観測所
(実施日時) 随時
(事業の対象者) 一般市民および大学研究者、会員など
(収 益) 各案件で適宜見積り
(費 用) 交通費等（桜島の出張費は 1 回 1 人 1 泊 45,000 円）
- (9) (事業名) 教育関係者の研修、教育教材開発の支援事業
(内 容) 教育関係者の研修や教育教材開発のための支援を行う
学生を対象に満点地震計を使った実習教育を実施する
(実施場所) 阿武山観測所
(実施日時) 5 月 14 日
(事業の対象者) 大学生
(収 益) 見込 46,000 円
(費 用) なし
- (10) (事業名) 第 3 回阿武山観測所と阿武山周辺の写真コンテスト開催
(学術、教育、文化・芸術の支援事業)
(内 容) 阿武山観測所や阿武山周辺を含む北摂地域で撮影された四季折々
の写真を一般公募し、入賞者には賞金や記念品を贈呈。また、作
品は当法人のホームページやガイドブックに掲載予定。こうした
文化・芸術活動など、幅広いイベントを通して当法人の P R
や新規会員の獲得にもつなげたい。
(実施場所) 阿武山観測所及び北摂地域
(実施日時) 9 月頃から作品募集開始
(事業の対象者) 一般市民及び当 N P O 会員
(収 益) なし
(費 用) 30,000 円
(大賞 1 名：10,000 円、準大賞 2 名：5,000 円×2、他郵送料等)

- (11) (事業名) NPO及び阿武山サポーター活動推進のための体制強化
(内 容) サポーター人材育成およびNPO事務局の強化
広報誌等でサポーターの募集をかけ、応募者を適切なカリキュラム
で教育訓練する。そのための教材作成や専門講師の手配を行う。
制服も新たに新調しサポーターのモチベーション向上を図る。
(収 益) なし
(費 用) サポーター育成講師代、ユニフォーム製作費、教材作成費等

2. その他の事業

- (1) (事業名) 地震・防災に関連する書籍や資材、物資の紹介と販売事業
(内 容) ①阿武山観測所を紹介したガイドブック
地震学と阿武山観測所の歴史、保存展示している歴代地震観測
機器の解説。また、昭和初期の歴史的な建築物を紹介や周辺の
自然や眺望なども紹介。
②書籍「地震情報を読み解く」の出版と販売。
(実施場所) 阿武山観測所やイベント会場
(実施日時) 見学会や講演会等イベント実施日
(事業の対象者) 一般市民及びイベント参加者など
(収 益) ①阿武山観測所ガイドブック 150,000 円 (500 円×300 部)
②地震学の書籍 300,000 円 (1,500 円×200 部)
(費 用) 印刷製本費 ①見込 50,000 円 (第3刷 500 部増刷)
②見込 300,000 円 (初刷 400 部印刷)

以 上